

令和4年度 山梨県ボランティア協会 事業報告書

■ 山梨県ボランティア・NPOセンター運営事業

令和4年4月から事業主体となり山梨県ボランティア・NPOセンターの運営に取り組みました。その状況は次のとおりでした。

重点目標

- (1)市町村・関係機関・企業と連携した、ボランティア・NPO活動の推進
市町村社会福祉協議会との協働事業の強化と、日本スポーツボランティアネットワークなど推進機関とも連携しながら事業展開しボランティア活動を推進していく。
また、圏域の中間支援組織として、NPO間の連携強化と人材育成を図っていく。
- (2)青少年を中心としたボランティアの育成と交流機会の提供
教育機関と連携し、ボランティア活動への参加の機会を提供しボランティアの育成を図る。
また、ボランティア活動者間の交流の輪に、興味・関心のある者が参加できる機会をつくり、ボランティア活動への理解や参加促進を図っていく。
- (3)ボランティア・NPOセンターの機能充実
ボランティア・NPO法人等のイベントに積極的に出向いて情報を収集し、ホームページ情報を充実させ、センターの情報発信の強化を図る。
また、ボランティア活動に関する意識調査を行い、ボランティア・NPO活動振興に係る事業強化を図る。
 - ボランティア・NPO情報の集積、発信、マッチング
 - 1 インターネットによる情報発信事業(やまなしNPO情報ネット)
 - 2 ボランティア・NPOボード運営事業
 - 3 マスメディアを活用した情報発信事業
 - 4 ボランティア・NPO相談窓口の開設
 - 5 ボランティア活動調査
 - ボランティアの育成
 - 6 福祉教育発信事業
 - 7 NPO活動推進事業
 - 8 ボランティア体験等事業
 - 9 スポーツボランティア育成事業
 - 10 ボランティアの育成・NPO学習パンフレット
 - ボランティア団体の基盤強化、ネットワークの促進
 - 11 ボランティアまちかどカフェ
 - 12 やまなしボランティア・NPOネットワーク交流会
 - 13 やまなしNPOフェスタ(県民の日記念行事)
 - 14 NPO法人設立相談会
 - 15 NPO支援専門家派遣による個別団体支援事業
 - 16 県内外関係機関とのネットワーク強化
 - 運営委員会
15名の運営委員を委嘱し、年3回開催。

実施概要 別添資料

■ 山梨県ボランティア協会法人運営事業

県ボランティア・NPOセンター運営事業と県ボランティア協会事業との融合を図りながら、中間支援組織としての存在意義を高め、持続可能な法人運営の取り組み強化を図りました。その状況は次のとおりでした。

■ 法人運営会議

1 理事会 年3回

- | | |
|----|---|
| 期日 | 令和4年5月18日(水) 10:00～12:00 |
| 会場 | やまなし地域づくり交流センター 3階 第4会議室 |
| 出席 | 6名 欠席5名 |
| 内容 | (1)令和3年度事業報告書及び収支決算書(案)について (2)令和4年度事業計画書及び収支予算書(案)について (3)主たる事務所の移転について |
| 期日 | 令和4年11月24日(木) 10:00～12:00 |
| 会場 | 山梨県ボランティア・NPOセンター |
| 出席 | 9名 欠席3名 |
| 内容 | (1)認定NPO法人の取得について (2)県への申請取組状況を報告し、今年度申請について見送り申請状況が整ったところで申請していくことを協議する。 |
| 期日 | 令和5年3月29日(水) 10:00～12:00 |
| 会場 | 山梨県ボランティア・NPOセンター |
| 出席 | 名 |
| 内容 | (1)令和4年度事業報告書及び収支決算書(案)について (2)令和5年度事業計画書及び収支予算書(案)について (3)理事・監事の任期満了への対応について |

2 監事会 年1回

- | | |
|----|--|
| 期日 | 令和4年4月27日(水) 14:00～15:00 |
| 会場 | 山梨県ボランティア・NPOセンター |
| 出席 | 2名 |
| 内容 | (1)令和3年度事業報告書及び収支決算書について (2)理事業務等の執行状況について監査を受ける。 |

3 通常総会 年1回

- | | |
|----|---|
| 期日 | 令和4年5月25日(水) 13:00～15:00 |
| 会場 | やまなし地域づくり交流センター 4階 大会議室 |
| 出席 | 本人22名 委任状40名 |
| 内容 | (1)令和3年度事業報告書及び収支決算書(案)について 監査報告 (2)令和4年度事業計画書及び収支予算書(案)について (3)理事の補充選任について (4)就業規則の見直し策定について |

■ 基盤強化事業

1 認定NPO法人の申請取得

期日 令和4年9月1日(木) 13:30~15:30

会場 県ボランティア・NPOセンター

出席 6名 県3名 県V協3名

内容 認定NPOの申請取得について取り組み日程の確認を行う。

○事前チェックシートに基づき書類の提出

○事前書類の提出

○現地視察

○審査員による審査会

期日 令和4年10月14日(金) 13:30~14:30

会場 県庁本館 2階 県民生活部会議室

出席 5名 県3名 県V協2名

内容 事前チェックシートについて説明と適否の確認を行う。

実績判定期間 令和2年4月1日~令和4年3月31日

①絶対値基準

②事業活動において、共益的な活動の占める割合が50%未満である。

③運営組織及び経理が適切である

④事業活動について

★実績判定期間において次の場合は70%以上である。

★受入寄付金の総額 1,703,900

★受入寄付金事業費充当額 880,929 51%

期日 令和4年11月10日(木) 16:00~17:00

会場 県庁本館 2階 県民生活部会議室

出席 3名 県1名 県V協2名

内容 認定を受けるための申請書及び添付書類一覧(兼チェック)

★申請に必要な書類内容の確認を行った。

★前回の課題について再度確認を行った。

結論として今年度の申請対応が厳しい状況を確認する。

2 SOMPO福祉財団助成申請

(1) 認定NPO法人取得資金助成申請

金額 30万円

推薦 山梨県社会福祉協議会

期日 令和4年9月30日

結果 令和4年12月7日 ➡ 助成対象外となる。

(2) 組織及び事業活動の強化資金助成

金額 70万円

推薦 山梨県社会福祉協議会

期日 令和4年9月30日 ➡ 助成決定となる。

結果 令和4年12月7日

贈呈 令和5年1月13日 13:00~13:30

県ボランティア・NPOセンター

損保ジャパン3名 県ボラ協5名

★終了後、記念撮影、意見交換を行う。

取組 令和4年度に実施計画書の策定

事業推進のためにサポート事業者との契約締結

令和5年度にて動画作成を行い情報発信を行っていく

■ パートナーシップ事業(連携協働)

1 やまなし未来共創HUB会議

期日 令和4年9月20日(火) 13:30～16:30
会場 やまなし地域づくり交流センター 1階 大会議室、多目的ホール
出席 田辺出席
内容 (1)プロジェクト中間発表
①地域の中で同じ釜の飯を食う
～顔馴染みの「お互いさん」づくり～
②農閑期で使用しない農家の作業場や直売所の利用価値を高めるプロジェクト
③Farmece(Farm&mece)]
④フードロスを活用した6次加工品の販路開拓
⑤地域特産品販売におけるクリエイティブの最適化
(2)意見交換

期日 令和5年2月16日(木) 13:30～16:30
会場 山梨県立図書館 多目的ホール
出席 田辺出席
内容 (1)プロジェクト発表・意見交換
①地域の中で同じ釜の飯を食う
～顔馴染みの「お互いさん」づくり～
②農閑期で使用しない農家の作業場や直売所の利用価値を高めるプロジェクト
③Farmece(Farm&mece)]
④フードロスを活用した6次加工品の販路開拓
⑤地域特産品販売におけるクリエイティブの最適化
(2)次年度やまなし未来共創HUB会議プロジェクトについて

2 「やまなし子ども・子育て応援県民会議」

期日 令和4年11月15日(火) 10:00～12:00
会場 ベルクラシック甲府 2階 ヴィクトリア
出席 田辺出席
内容 (1)第2期取り組み状況について
(2)取り組み事例発表
(3)講演会
演題 男性育休制度で起こる変化と企業価値へのつなげ方
講師 白河 桃子氏
相模女子大学大学院 特任教授

3 地球環境基金 令和4年度助成金説明会・セミナー

期日 令和4年10月27日(木) 14:00～16:30
会場 ダイタビル5階
出席 1名
内容 第1部 レクチャー①
地域環境共生圏及びOECDMについて/環境省
レクチャー②
地域の団体がOECDMをどのように有効活用できるのか
公益財団法人 日本自然保護協会(NACS-J) 高川 晋一氏
第2部 令和4年度 地球環境基金の紹介
質疑応答
個別相談

4 「夢を生きる: 女性のための教育・訓練賞」応募者推薦

| | |
|----|--|
| 概要 | 「夢を生きる賞」は、就業機会向上のための技能訓練や教育を受けることで、自分と家族のためのよりよい生活を目指している女性を支援しております。 貧困、DV、性的暴力、離婚、配偶者との死別など人生の試練に遭遇しながらも、それを乗り越え、新たな道を切り開こうとしている女性を応援しています。 |
| 主催 | 国際ソロプチミスト山梨 |
| 推薦 | 山梨県ボランティア協会 令和4年11月12日 推薦 |
| 成果 | 国際ソロプチミストクラブ賞 受賞 日本東リジョン奨励賞 受賞 |

5 「どうする、甲府盆地が洪水だ!!」講演会

| | |
|-----|---|
| 期日 | 令和5年3月5日(日) 13:35～15:20 |
| 会場 | 甲府市総合市民会館 芸術ホール |
| 参加者 | 300名 |
| 内容 | ○講演1 半井小絵氏 「気象と避難」 ○講演2 古越武彦氏 「長野県での取り組みを踏まえた官民協働」 ○パネルディスカッション テーマ どうする、甲府盆地が洪水だ!! パネラー 秦 康範氏 山梨大学大学院総合研究部准教授 (一社)フェーズフリー協会理事 古越武彦氏 NPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク(JVOAD)事業部事業担当 元長野県危機管理部火山防災幹 半井小絵氏 気象予報士、タレント、 NPO法人火山防災推進機構客員研究員 小見山義廣氏 山梨災害ボランティア連絡会議副会長 |
| 主催 | 国際ロータリー2620地区 山梨第2グループ |
| 主催 | 甲府シティロータリークラブ |
| 共催 | 山梨災害ボランティア連絡会議 |
| 後援 | 甲府市 山梨県ボランティア協会 |

6 委嘱・要請事業

(1) 関係機関・団体等委嘱要請への対応

当協会理事が委嘱を受けて対応している委員会等への出席対応を図りました。

- ① 山梨県ボランティア・NPOセンター運営委員会 委員
- ② 環境パートナーシップやまなし 委員
- ③ 山梨県障害者福祉ふれあい会議 理事
- ④ 公益財団法人山梨みどり奨学会 理事
- ⑤ 公益財団法人長田ふるさと財団運営委員会 委員
- ⑥ 公益財団法人鈴木助成事業財団 評議員
- ⑦ 中央ろうきん助成制度「カナエルチカラ」 選考委員

(2) 後援名義要請への対応

当協会への後援名義使用申請に伴い次のとおり承認対応を図りました。

- ① 4月6日 第22回 山梨YMCAインターナショナル・チャリティーライン2022
第24回 山梨YMCAチャリティーライン実行委員会
- ② 4月21日 山梨県障害者スポーツ大会
社会福祉法人山梨県障害者福祉協会
- ③ 5月31日 第68回 白い杖愛護運動月間
社会福祉法人山梨ライトハウス

- ④ 7月5日 第24回 山梨県障害者文化展
社会福祉法人山梨県障害者福祉協会
- ⑤ 7月12日 第48回 ジャンボひまわりのつどい
社会福祉法人山梨県障害者福祉協会
- ⑥ 8月1日 第18回 やまなし留学生スピーチコンテスト
やまなし留学生スピーチコンテスト実行委員会
- ⑦ 8月20日 第42回 山の都ふれあいコンサート
山の都ふれあいコンサート実行委員会
- ⑧ 10月4日 響育フォーラム2022
響育フォーラム実行委員会
- ⑨ 10月25日 第41回山梨県綱引選手権大会・山梨県ジュニア・ユース綱引き大会
山梨県綱引連盟
- ⑩ 12月13日 第41回笛吹市社会福祉大会
社会福祉法人笛吹市社会福祉協議会
- ⑪ 12月15日 第33回 山梨県「障害者の主張」大会
社会福祉法人山梨県障害者福祉協会
- ⑫ 3月7日 山梨県障害者スポーツ大会
社会福祉法人山梨県障害者福祉協会

■ 臨時事業

1 地元やまなしで出来るウクライナ支援(臨時・実施事業)

- 経緯経過 ○4月5日(火)、山梨県知事が、要請があればウクライナからの避難者を受け入れるという発表を聞き、民間レベルでの支援窓口を開設する運びとなりました。
- 令和4年4月6日(水) 活動開始
NPO法人山梨県ボランティア協会、NPO法人にじいろのわと協働し、ウクライナ避難者 受入準備室 設立要項を作成する。
- ウクライナからの避難者に対し行政と情報を共有し、第1段階は、「衣・食・住」を中心としたサポートを行っていくことになる。
- 今後は、各関係機関と連携しながら教育、子育て、就労支援等を行う予定。

- 検討事項 ①支援品受付窓口
②寄附金受付窓口
③避難者に対する衣食住のサポート
④団体・機関とのコラボ、マッチング
⑤メディアの協力を得て、呼びかけ、情報提供

- 実施態勢 ①総合窓口 山梨県ボランティア・NPOセンター
②寄附金窓口 山梨県ボランティア協会
③受付専用口座 山梨中央銀行 本店営業部 普通預金 2131745
④支援品窓口 NPO法人にじいろのわ・甲府総合市民会館なないろカフェ
⑤支援物品提供 山梨地域子ども食堂グループ(県内各地)

| 対応状況 | 寄付金 | | 方法 | 個人 | 団体 |
|------|---------------|--|-----|----|----|
| | 420,480 | | | | |
| | 4月12日 1,000 | | 持参 | ○ | |
| | 4月12日 50,000 | | 振込 | ○ | |
| | 5月11日 200,000 | | ATM | | ○ |
| | 5月11日 10,000 | | ATM | ○ | |
| | 5月11日 10,000 | | ATM | ○ | |
| | 5月11日 10 | | ATM | ○ | |
| | 5月31日 109,470 | | 持参 | | ○ |
| | 6月3日 10,000 | | 振込 | ○ | |
| | 6月15日 10,000 | | 持参 | ○ | |

6月28日 20,000 持参 ○
合計 420,480 円

| | | | | |
|------|-------|---------|--------|-------|
| 支援内容 | 8月29日 | 123,530 | エアコン2台 | 取付工事含 |
| | 10月7日 | 64,130 | エアコン1台 | 取付工事含 |
| | 合計 | 187,660 | | |
| | 残高 | 232,820 | | |

継続対応 県等、関係者との情報交換を図りながら支援の継続方法を検討しています。

報告掲載 ボランティア・NPOセンター運営事業報告書に掲載

■ 法人事務局の整備と協会の歩み

- 1 事務所の登記

2022年 令和4年5月19日 甲府法務局登記
〒400-0031 山梨県甲府市丸の内2-3-5-1
やまなし地域づくり交流センター3階
TEL 055-224-2941 FAX 055-232-4087
法人携帯070-3784-8820
URL <http://www.yva.jp/> e-mail yvnc@yva.jp
- 2 事務所環境の整備

| | | | |
|------|-----|-------|-----|
| 事務機 | 2 個 | カメラ | 1 台 |
| 椅子 | 2 脚 | 三脚等 | 1 式 |
| パソコン | 1 台 | 冷蔵庫 | 1 台 |
| 印刷機 | 1 台 | レンジ | 1 台 |
| ロッカー | 4 個 | 電気ポット | 1 台 |
| 書類棚 | 2 個 | 食器等 | 1 式 |
- 3 創立40周年から45周年～5か年のあゆみ～

目次紹介 別冊発行

 - 先人の願いを未来へつなぐ!!～ひとつのねがい～ P 1
 特定非営利活動法人山梨県ボランティア協会 会長 田辺 光正
 - 山梨県ボランティア協会設立趣意書 P 2
 - 山梨県ボランティア協会45年のあゆみ P 4
 1. 歴史年表 (1974～)
 2. 山梨県ボランティア協会役員の変遷 (1999～)
 - 創立40周年から45周年までの5年間のあゆみ P 13
 主な事業活動
 1. 中間支援事業
 - ・ ふれあいチャリティーグラウンドゴルフ大会
 - ・ ヴァンフォーレ甲府ホームゲームのご招待
 - ・ 富士急ハイランドプレミアムチケット寄贈/こども食堂お楽しみ企画
 - ・ 山梨県内装仕上げ技能士会による塗装ボランティア
 - ・ 大相撲秋巡業甲府場所ボランティア
 2. 自主事業
 - ・ やまなしボランティア・絆フォーラム2017
 - ・ こどものひろば
 3. 委託事業
 - ・ 県民活動ネットワーク事業 (平成30年度から令和2年度)
 4. 助成金事業
 - ・ 休眠預金等に係る資金の活用事業
 5. 旧ボランティア・NPOセンター建物内の物品搬出
 - 編集後記 P 37